

「令和 2 年度家庭教育学級」の実施について

当課では、家庭における教育力を向上させ、人間性豊かな子どもを育成するために家庭教育学級を実施しております。

今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により参集型の実施を見送っていましたが、機会や参加者を限定することなく恒常的に情報発信するために、オンラインを活用した方法により下記のとおり実施いたします。

記

1 目 的

家庭教育に関する情報を、機会や参加者を限定することなく恒常的に発信できるよう、コンテンツを **WEB** 上に掲載し各家庭が自由に学べる形態とするとともに、保護者が家庭教育に関する学習を通し、親としての教育力を高め、人間性豊かな子どもの育成を図ることを目的とする。

2 主 催

板橋区教育委員会

3 実施方法

講義動画を区ホームページ内の「チャンネルいたばし」(YouTube)に掲載する。

4 講義動画

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが保有する動画を借用する。

5 内 容

保護者の子育てにおける不安を解消するとともに、子育てに関する正しい知識等を持ち子どもとの向き合い方に対する自己意識を高めるために必要な内容とする。

6 対 象 者

一般区民

7 掲載期間

令和 3 年 3 月 13 日 (土) ～ 5 月 9 日 (日)

8 周知方法

板橋区立小学校・中学校の児童・生徒にチラシを配付するとともに、広報いたばしに記事を掲載する。

9 問合せ先

教育委員会事務局地域教育力推進課青少年係
TEL : 03-3579-2488 担当 : 笹川

「子どもの権利と たたかない、怒鳴らない、 子どもと向き合うヒント」

いつでも

だれでも

気軽に視聴

オンライン開催



講師

いわい

岩井 さくら 先生

(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

国内事業部 子ども虐待の予防事業プログラム・オフィサー

大学卒業後、中学校での教員経験を経て、青年海外協力隊としてキルギス共和国で農村部の教育事業に従事。英国イーストアングリア大学で教育開発学の修士号取得。その後、現職。担当事業では、子どもの体や心を傷つける罰のない社会の実現のための政策提言活動や体罰等によらない子育てを推進するための啓発活動を行っている。

内 容

- ①「子どもへの体罰について法律はどう変わった？」
- ②「なぜ、子どもをたたいたり、怒鳴ったりしてはいけない？」
- ③「子どもの権利に根差した子どもとの向き合い方」
- ④「たたかない、怒鳴らない、子どもと向き合うヒント」

視聴方法

板橋区ホームページ

「チャンネルいたばし」(YouTube)に掲載

掲載ページ

トップページ>区政情報>広報>映像・画像資料リスト、電子展示室>
動画配信サービス「チャンネルいたばし」・ガイドページ>その他の動画コンテンツ

視聴にあたり発生する通信料は、視聴する方のご負担となります

QR

掲載期間

令和3年3月13日(土)~5月9日(日)

対 象

どなたでも

主 催 : 板 橋 区 教 育 委 員 会

区取り組み

板橋区教育委員会では、家庭教育の充実を図る取り組みをしておりますので、その一部をご紹介します。

年齢別／身に付けたい基本的な生活習慣

3・4・5歳児と中学校入学を控えた児童を対象に、家庭で身に付けたい基本的な生活習慣をお知らせしています。

3・4歳児にはそれぞれ『3さいからの5つの「できるかな？」』『4さいからの7つの「できるかな？」』を、5歳児には『小学校入学前に身に付けたい10の生活習慣』をチェックシート形式で作成し、区内保育園・幼稚園等で年に一度配付しています。

また、区立小中学校の「新入学に関するご案内」に、『入学前に身に付けたい10の生活習慣』を掲載しています。

幼少期から規則正しい生活習慣を身に付け、新しい環境で気持ちよく過ごせるよう、ぜひ、ご活用ください。



板橋区ホームページ
「年齢別／身に付けたい基本的な生活習慣」



『小学校入学前に身に付けたい10の生活習慣』（表紙）

板橋区版スマートフォン等を使うためのルール

学校及び各家庭のルールづくりを促し、子どもたちが正しく情報通信端末を利用できるようになることを通じて、トラブルや犯罪に巻き込まれるリスクの未然防止を図ることを目的に、『板橋区版スマートフォン等を使うためのルール』リーフレットを作成・配付しております。

お子様にスマートフォン等を持たせる際、家庭でのルールづくりの参考としてご活用ください。



板橋区ホームページ
「板橋区版スマートフォン等を使うためのルール」



『板橋区版スマートフォン等を使うためのルール』（表紙）